



四季を感じること・・・

校長 坂野 眞太郎

今年も早いもので残すところあと1か月となりました。2024年は皆様にとってどんな1年だったでしょうか。元旦には能登半島沖の大地震、夏にはパリオリンピック・パラリンピック、メジャーリーグでは大谷選手の大活躍・・・など、思い返せば様々なことがありました。

本校110周年記念行事を中心に、子供たちは様々な日々の経験から多くのことを学び、心身ともに大きく成長しています。また、今週末には学習発表会があります。昨年とは違う成長したお子様の姿を温かく見守っていただければ幸いです。

また、温暖化の影響もあり、異常な気象に悩まされる1年でもありました。「観測史上初」「10年に一度の〇〇」などの情報が頻繁に報道される日々が続きました。夏の猛暑も大きな課題と話題になりましたが、現在の日本に「四季」はあるのでしょうか。特に「秋」はいつからいつまで感じるのでしょうか。四季を感じづらくなったことは、人の心と体のもちようにも関係してくるような気がします。今後ますます秋が短くなってしまおうかと思うと寂しい限りです。

「読書の秋」「スポーツの秋」「芸術の秋」「食欲の秋」など、何をするにもよい気候という意味で用いられることが多かった秋。この季節を好きな方が多いのではないのでしょうか。二十四節気の「小雪」を過ぎ、日によっては吐く息も白くなる朝を迎えることもあります。温暖化といっても、さすがにもう冬支度ですね。

季節を感じながら当たり前のように生活してきた日常生活も、少しずつ変化を見せています。私たちの生活スタイルも自然や社会の変化とともに、柔軟に対応していかなければなりません。

学校生活においても、熱中症対策、感染症対策をはじめとする身体に及ぼす影響への対応。特性に応じた個別支援、全体への指導などの心のケア。と課題は数多くあります。

学校では、次年度の様々なことに関して、常に改善していけるよう検討を重ねています。

12月20日(金)に行われる保護者会の際に、ご案内することもありますので、年末のご多用な時期ではございますが、ぜひご出席いただくと幸いです。

そして、今週末に行われる学習発表会において、子供たち一人一人は友達、保護者、地域の方々に見守っていただきながらも、自分の今できる力で精一杯発表します。その成果を発揮できるよう、あらためて体調管理にご留意ください。

12月の生活目標

気持ちのよい きれいな学校にしましょう

気候もすっかり冬らしくなり、今年も残すところ一か月となりました。2学期末に向けて学習面・生活面のまとめの時期となりました。新年を新しい気持ちで迎えるためにも、学校では身の回りの整理整頓と学級・校内の美化を改めて呼びかけていきます。ご家庭でも、お子さんと一緒に大掃除などに取り組んでいただきたいと思えます。

生活指導担当